

STORY 1

「菊池川大河物語①」
～菊池川の恵を享受した人々～

Route

「菊池一族の、 威光を偲ばせる史跡を辿る旅」



450年を続けた 肥後最大の豪族 菊池一族の歴史

平安から室町時代にかけて二十四代にわたり、菊池の地を本拠地として栄えた肥後最大の豪族・菊池氏。菊池川により海外と交易を行い財をなし、また武士に対して文教を広めるなど、菊池市のみならず周辺地域にも繁栄をもたらしたとして、今なお地元の人たちの深い敬意と親しみを持たれている。

菊池市



菊之池跡・ 菊池則隆公墓所

菊の花に似ていることから名が付き、「菊池」名の起源と言われる池の跡地と菊池氏初代則隆の墓所。

菊池市



菊池武光公騎馬像

15代当主である武光の像。筑後川の戦いなどで活躍し、九州における南朝勢力の優勢を確立した。

菊池市



将軍木

征西将軍としてこの地に迎えられた懐良親王がお手植えされたと伝えられるムクノキ。

菊池市



熊耳山正観寺・菊池武光公墓所

15代菊池武光が菩提寺として建立。境内には武光の墓木とされる樹齢約600年の樟の大木がある。

玉名市



紫陽山廣福寺

13代当主・菊池武重の遺命により、弟の武澄が開山。中世の菊池氏の動向を知る多くの古文書を残す。

山鹿市



日輪寺

ツツジや桜の名所として有名な古刹。12代当主・菊池武時(たけとき)が再興した寺で、境内には武時の供養塔があり、武時の娘である了心素覚尼の墓が残る。